

仲間と一緒に

ぜいたくな時間と空間を

NO. 4 令和3年4月30日

必死に遊ぶ



遊びたい！遊びたい！遊びたい！

8時30分に登園して来て、給食の用意を始める11時30分まで、時間の許す限り、さんとくんの「遊びたい」という必死の願いに応えたいと思い、一緒に遊ぶ毎日です。「遊ばされている」のではなく、主体的に遊ぶことから真の楽しさを味わい、楽しさのなかでこそ身に着く力がたくさんあるのです。特に幼児期の学びの姿は「遊びの姿」なのです。

ですが、「放任」ではありません。子どもには「主体的に遊んでいる」と感じさせるなかで、実は教師が幼児期に学んで欲しいことを意図的計画的に園環境にいかになら仕込むか、これが幼稚園の先生の役目です。教科書はありません。園環境のさりげないものに、教師の意図や願いが込められています。

さて、これほど必死になって何かに取り組んだことってあるかなあ、と自分自身を振り返ってみると…今、現在がまさに必死。必死に毎日生きています。必死者同士、見つめる先は同じ「充実した幼稚園生活」です。



力を合わせて、砂場に作った池の中に落とした石（←石ちゃんだそうです）を救出しています。

鯉のぼり、できました！鯉のぼりと一緒に走りたい（泳ぎたい？）のだそうです♪ ※HPご覧くださいね。



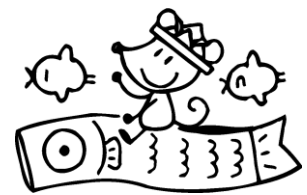
「わたし」は「わたし」でも「わたし」は、みんなのなかの「わたし」

この言葉は、前教育長から研修会で学んだ言葉です。その時はあまりピンと来なかったこの言葉も、今は心の底まで響いています。園児はさんとくんの二人ですが、二人だからこそ集団の中の一員であることを忘れずに園生活を送って欲しいと考えています。二人であっても園の約束事はきちんと守るようにし、自分勝手は慎む態度を身に付けていけるように援助したいと思います。また、集団の中の一員であることを実感できるよう、小学校や他園との交流を行っていきたくと考えています。

大人社会でも、「わたしはわたし」の部分と、「みんなのなかのわたし」のバランスが崩れていることがあります。このバランスが崩れていることに気付ける「感性」も、幼児期から養っておきたい力の一つです。

5月のねらい

- 生活の仕方が分かり、できることは自分でしようとする。
- 戸外で身近な自然にふれたり、室内でも自然を感じたりしながら気持ちよく過ごす。



行事予定 ※次号は14日(金)に発行します

5月	3日(月)	憲法記念日
	4日(火)	みどりの日
	5日(水)	こどもの日
	6日(木)	歯科健診延期
	10日(月)	朝の会
	14日(金)	体重測定



5月の集金のお知らせ

お知らせとお願い

- ・5月中に実施を予定していた歯科健診及び内科健診は、現在、緊急事態宣言中のため6月に延期の予定です。日程が分かりしだい、お知らせいたします。